



### 死亡事故ゼロ2年間 新たに交通安全誓う

町は3月17日までの二年間、交通死亡事故ゼロを達成し県警本部長から18日、賞賛状を受けました。

伝達式は役場町長室で行われ、和野省助町交通安全協会会長ら4人と関係者が見守る中、岩手署の熊谷正和署長が「今後も一日でも長く続くよう取り組んでほしい」と述べ、鈴木重男町長に賞賛状を手渡しました。

鈴木町長は、「死亡事故ゼロ2年間を達成できたことはうれしい。これからも町民一丸となって一層交通安全に取り組みたい」と、関係者らとともに記録の更新を誓い合いました。

町の死亡事故ゼロの最長記録は4年間で、平成15年8月7日に賞賛状を受けています。

鈴木町長に賞賛状を渡す熊谷署長と後列左から和野会長、緑川猛雄町交通指導隊長、木戸場弘祐地域交通安全活動推進委員、神谷ミツ子町交通安全母の会会長

### 子羊との再会に大歓声 命の尊さと温かさ学ぶ

江刈小学校（湯原尚子校長）の1・2年生11人は2月26日、生活科の授業の一環で町畜産開発公社の羊とのふれあいを楽しみました。

同校は毎年夏の間、同公社から羊を預かり親しんで18年。自分たちがお世話した羊を見つけると「大きくなったねえ」と再会を喜びました。同公社の上野豊治肥育課長の説明を聞き「どのくらいの大きさを生まれるの?」「毛の色は?」など質問して命の尊さを学びました。11人の児童は生後20日の子羊にそれぞれ触れ、「フカフカして気持ち良くて温かかった。今年はどの子が来るか楽しみ」と、安東隼希くん（8歳）は6月の再会に胸を膨らませました。

この春、同公社で生まれた子羊は43頭です。



生後20日の子羊を見て、「かわいい〜」と近寄って頭をなでる児童たち

### 観衆前に恒例の門打ち 豊年願う旧小正月行事

旧の小正月行事として定着した茶屋場えんぶり保存会（東春三会長）による門打ちが2月28日、町内で行われました。

今年は2月にしては珍しく暖かな日となり、鳥帽子や華やかな衣装などをまとった保存会の皆さんの「舞い込み」や「金輪切り」などに多くの観衆が集まりました。迎える家々では甘酒などを振る舞い、みずき団子を飾るなど歓迎ムード。集まった人たちは「縁起の良いものを見られてありがたい」と拍手を送りました。

東会長は、「平成6年から始めた門打ちは今年で17年目、年々見てくれる人たちが増えやりがいがある。豊年祈願はもちろん、郷土芸能を絶やさないよう若い担い手を育てたい」と抱負を語りました。



例年には珍しく雪もなく暖かい中、玄関先で行われる大夫3人による「舞い込み」



### 地域の人に感謝の一服 葛巻幼稚園で「お茶会」

葛巻幼稚園（楢山節子園長・園児13人）はひなまつりの3月3日、支えてくれた地域の皆さん約100人を招いて感謝のお茶会を開きました。

お茶会は、おひな様が飾られ風情のある茶室と化した同園のホールで行われ、お作法をしっかり身に付けたかわいらしい「お半東さん」役の園児らがお客様をもてなしました。

遊休農地の有効活用を目指した「孫の手も借りたい事業」で交流を深めてきた町農業委員も招待され「お茶をどうぞ」と差し出された茶わんを眺め、慣れない作法に戸惑う委員にホールは笑いに包まれました。

鈴木努農業委員会会長は「心豊かな子どもたちを拝見してうれしく思いました。今年もまた交流しましょう」と目を細めました。

町農業委員一人一人に「お茶をどうぞ」と茶わんを運ぶかわいい園児たち

### 高齢者に年賀状続けた 五日市小に親切実行章

五日市小学校（星貴子校長・児童43人）は3月9日、小さな親切運動岩手県本部（代表・高橋真裕岩手銀行頭取）から「小さな親切実行章」を受賞しました。

この受賞は、学校行事への協力のお礼に学区内の70歳以上の高齢者全員に手書きの年賀状を送り続けている活動が評価されたもの。活動は、平成5年の夏休みに子供会活動として地区の全戸に暑中見舞いを届けていたことが始まりで、現在は学校の活動として続けているものです。今年は「勉強頑張るよ」「じいも頑張るよ」など約30通ものうれしい返信があり、子どもたちと高齢者との架け橋になっています。

大道美紅さん（6年）は「喜んでほしいと思って書いています。これからも続けていきたい」と誓いました。



「小さな親切実行章」の賞状を手に「来年も頑張ります」と笑顔の五日市小学校全校児童



### 1,000頭達成に意気込み 和牛農家が大会に集結

葛巻町和牛繁殖1,000頭必達大会は3月23日、JA新岩手葛巻中央支所モウモウ館で開かれました。

大会は、新岩手農業協同組合と新岩手和牛改良組合葛巻分会が主催し、今年度中に1,000頭を達成させようと町内の和牛繁殖農家約80人が集結。今までの経過と今後の方策を確認しました。門場政一分会長は「昭和56年に和牛を導入し今年で30年。飼料の高騰や市場価格の低迷に苦しんでいるが、町と農協の助成を受けながら先輩の努力に報いるため一丸となり達成したい」と、意気込みを語りました。

大会の最後は、下道初男副分会長が決意表明を読み上げ、参加者全員で1,000頭達成を誓い合いました。平成21年の町内の繁殖農家は112戸、繁殖頭数は947頭です。



和牛繁殖1,000頭を目指して開催された必達大会。円内は決意表明を読み上げた下道副分会長